

歴史の小径 散策ルート



距離 約5.5km
徒歩 約4時間コース

北
4

刈谷市 歴史の小径

れきしのこみち

高津波・小山編



刈谷市歴史博物館
KARIYA city Museum of History

〒448-0838 刈谷市逢妻町4-25-1 TEL: 0566-63-6100

① 逢妻駅 【あいづまえき】

昭和63年(1988)3月13日に、東海旅客鉄道株式会社(JR東海)が新設した刈谷一大府間の駅。開業時には、入場券やカード入れなどの記念品が作成された。

② 医王寺 【いおうじ】

慶長年間、楞嚴寺11世能山祖芸が開基。刈谷城主水野忠重の頃に、綱にかかった薬師如来像を御堂に安置したのが始まりとされる。乳薬師と呼ばれ、江戸時代には雨乞祈願もされるなど信仰を集めた。

③ 常夜燈 【じょうやとう】

明治3年(1870)建立。当時、付近まで衣ヶ浦が入り込み船の出入りがあったとされ、碑には岡崎の石工の名や若衆45人の名が刻まれている。元禄14年(1701)の三河国絵図には、高津波より大府までの距離が記され、渡し船の往来があったことがうかがえる。

④ 金勝寺 【こんしょうじ】

文明16年(1484)慶宗が道場として開いたのがはじまりとされる。寺宝の「方便法身尊像」の裏書は蓮如上人自筆と伝えられ、刈谷市指定文化財になっている。また、この裏書に「高津波道場願主釋慶宗」とあり、高津波という地名が記録に残る最初のものでされている。

⑤ 市杵島神社 【いちきしまじんじゃ】

市杵島姫神と金刀比羅神が祀られている。この2神は、仁孝天皇在位の頃(1817～46)に改めて氏神として祀られている。また明治42年(1909)に金刀比羅社が合祀された。

⑥ 中手山神明社 【なかくてやましんめいしゃ】

創立は天文元年(1532)、磯村与左衛門によるとされる。大日靈貴尊おおひるめのむちのみこと(天照大神の別名)が祀られている。境内には末社として、稲荷社と秋葉社がある。

⑦ 中手山貝塚 【なかくてやまかいづか】

中手山神明社の境内地を中心に広がっている縄文時代晩期の貝塚。

遺物は元刈谷式土器のほか、石鏃・石斧などの石器類、矢筈などの骨角器や貝輪、シカ・イノシシなどの獣骨、ハイガイ・アカニシ・カキなどの貝類が出土している。

⑧ 敬専寺 【きょうせんじ】

真宗大谷派の寺。もとは天台宗であったが、開基・乗慶が蓮如上人を信仰したため、浄土真宗に改宗した。本尊の阿彌陀如来は、徳川家康の次子・結城秀康の従兄弟である永見志摩守吉次ながみしまのかみよしつぐの奉納によるもの。愛知県指定文化財である「綱座天神座像」を所蔵している。

⑨ 天子神社 【あまこじんじゃ】

天文21年(1552)、伊勢国に住む小山太郎・加藤藤麿などが来往して、正殿を建立したとされる。以来、当地の氏神として少彦名命すくなひこなのみことを崇め、天子大明神とした。

⑩ 天子神社貝塚 【あまこじんじゃかいづか】

天子神社境内を中心に広がる縄文時代後期から晩期の貝塚である。

遺物は、縄文土器・石器・骨角器・貝製品などのほか貝類・獣骨などが出土している。昭和42年(1967)に愛知県指定史跡となった。

⑪ 薬師堂 【やくしどう】

薬師如来を祀る御堂。昔ひとりの修験者が薬師如来を背負って旅をしていた。この地に立ち寄り、一休みしたとき、薬師如来を納めた箱が持ち上がらないほど重くなったため、修験者はここに御堂を建て、薬師如来を祀ったとされる。

⑫ 牛石 【うしいし】

頭と胴とされる2つの石。修験者がこの地で一休みしたとき、薬師如来の箱が置かれた石が牛の姿になって歩きまわった。村人がこれを打ちすえると石に戻ったという。

⑬ ハツ崎貝塚 【はつさきかいづか】

刈谷で最も古い縄文時代早期後半の貝塚。昭和30～31年(1955～56)と同56年に発掘調査が行われた。縄文早期から古墳・奈良・平安時代にわたる土器や石器、骨角器などが出土している。昭和59年に愛知県指定史跡となった。



ハツ崎貝塚出土品

⑭ 山の神遺跡 【やまのかみいせき】

縄文時代中期の遺跡。昭和29年(1954)、刈谷東中学校の校庭で発見された。検出された1軒の竪穴住居跡は、中央に炉跡をもち、1辺3mあまりの隅丸方形で、縄文土器や打製石斧、無茎石鏃、石錘などが出土している。昭和42年に愛知県指定史跡となった。